

## 理系出身監督官インタビュー

平成 24 年度任官

### 現在の仕事内容

相談対応や会社への指導、建設現場のパトロールや災害調査、悪質な事案の書類送検など、労働に関わる幅広い業務に携わっています。

今は、通常業務に加え、広報活動や後輩への教育指導にも注力しています。



### 大学時代の専攻分野と業務への活用エピソード

大学時代は、労働安全衛生分野を専攻していたので、学んだことがそのまま現場での指導に役立ち、具体例を提示するなど説得力を持って伝えることができました。

現場はオフィスだけでなく、工場内の機械設備や化学物質、工事現場の足場や重機など、初めて見聞きするものも多くあります。自身の専攻分野において力を発揮できるのは勿論、培った分析力や論理的思考を活かし、他分野においても臆せず取り組めるのは、理系出身者の強みだと思います。

### 労働基準監督官の魅力について

労働基準監督官は法律家というイメージがあるかもしれませんが、理系の知識を要する場面も多くあります。

爆発災害の調査時に、警察や消防、研究所と協力しながら原因究明に尽力したことや、感電死亡災害の調査時に、遺族から「同じ思いをする人が出ないよう調査し指導してくれるのは嬉しい。」と涙ながらに感謝されたことが印象に残っています。

自身の知識を活かし労働者の命を守るやりがいと使命感は、労働基準監督官ならではの魅力だと思います。

### 任官してから苦労したこと、それを克服した方法

理系出身が故に、やはり最初は法令の知識を習得することに苦労しましたが、任官後の研修時に文系出身の同期から教えてもらいながら、また反対に、理工系の分野においては教えてあげながら、楽しく学ぶことができました。

### 理系の学生に伝えたいメッセージ

1 日の多くの時間、人生の多くの時間を費やす「労働」。この労働環境を安全快適なものにすべく、労働基準監督官は多方面からアプローチし日々奮闘しています。ぜひ、皆さんの知識と熱意で、日本の労働力を一緒に支えていきましょう！

### ○仕事風景

<事件捜査（聴取）>



<建設現場における監督指導>



法令制度周知  
のための説明会

